学校番号	３０５

平成 31 年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新・社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等	情報のノート「新・社会と情報」　（日本文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・パソコンや携帯が普及し、日常の様々なところで情報通信機器が使われる現代を生きるうえで、情報社会の問題点、とりわけ SNS 等のネットモラルについて考え、犯罪に巻き込まれないように、また巻き込まないような活用方法を身につけ、情報社会について理解を深めます。
・コンピュータなどの情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報を収集、処理、発信する能力を身につけるため、自らの考えを発表したり、議論したりするような実習を行います。
・情報通信ネットワークを利用したコミュニケーションなどに関する問題に対して、自ら考えるとともに、周りの人の多様な意見や考え方を共有、理解することにより、その知識を深め、情報社会に対して積極的に参画する態度を身につけていきます。

2　学習の到達目標

・情報および情報技術が果たしている役割や与える影響について理解する
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用した効果的なコミュニケーションを行う能力を身につける
・情報機器などを活用して、情報の収集、処理、表現をする能力を身につける
・情報社会の進展に主体的に対応し、積極的に参画する態度を身につける

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会の一員として積極的に参画する態度を身につけている。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、情報モラル等の観点も含め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを状況に応じて、適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響、社会的意義を理解している。
評価方法	ワークシートの記述 実習作品 学習状況の観察 等	ワークシートの記述 実習作品 発表 学習状況の観察　等	実習作品 発表 自己評価・相互評価 学習状況の観察　等	ワークシートの記述 実習作品 定期考査 学習状況の観察　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	「社会と情報とは」	○情報社会について学ぶ意義 ○情報社会で求められる力 ○自己評価 ・情報モラル ・基本操作と基礎知識	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:「社会と情報」の学習内容について理解し、「情報」を学ぶ意義を見出すことができる。 b: 情報社会で求められる力を考えることができる。 c: 自分の知識や技能について振り返り、適切に自己評価に取り組むことができる。 d: 「情報社会」と「情報」について整理でき、「社会と情報」を学ぶうえで必要な知識を理解している。	ワークシート 学習状況の観察
	情報社会に生きるわたしたち	○情報社会とコミュニケーション ○情報の収集と信憑性の判断 ○サイバー犯罪 ○知的財産 ○個人情報とプライバシー	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: インターネットを介したコミュニケーションの特性を踏まえて、基本的な注意事項に配慮することができる。 b: 多くの情報がネット上に流通していることを知り、情報の正確性を判断できる。法規をもとにネット上の問題を考えることができる。 c: サイバー犯罪や個人情報の流出の危険から守るための適切な手段や活用ができる。 d: インターネットを介したコミュニケーションやそれらに関わる基本的な注意事項や著作権等の法規を理解している。	レポート ワークシート 学習状況の観察 定期考査
	情報社会とディジタル技術	○コンピュータとディジタルデータ ・ディジタルの特徴 ・ディジタルデータの圧縮 など ○インターネットのしくみ ○WWWと電子メール ・通信のしくみとTCP／IP ・コンピュータネットワークの構成	○ ○ ○	○ ○	○ 	○ ○ ○	a: コンピュータのしくみや特徴について関心をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b: コンピュータのしくみやディジタルデータの取り扱いについて理解し、データの流れについて整理することができる。 c: アナログとディジタルについて理解し、それぞれの特性を考慮して適切に活用することができる。	ワークシート 学習状況の観察 定期考査

							d: ディジタルとアナログの違いやそれぞれのメリットを理解したうえで、コンピュータ内部での表現や処理、仕組みについて整理でき、ディジタル化することの利点について把握できている。	
後期	情報社会と情報システム	○社会を支える情報システム ・モデル化とシミュレーション ○情報システムと商取引 ・データベースとビッグデータ ・安全な情報流通 ○情報セキュリティ ○情報通信産業など ・アルゴリズムとプログラム ○数値データの活用	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a: 情報セキュリティについて理解するとともに、身のまわりの情報システムを効果的に活用しようとしている。 b: アルゴリズムを理解し、フローチャート等を用いることで順を追って流れを考える力が身についている。 c: 効果的な情報共有やビッグデータを扱うために情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d: 情報システムによる利便性、問題があったときの影響の大きさやその対策について理解している。	ワークシート 学習状況の観察 実習作品 定期考査
	情報社会と問題解決	○情報格差 ○テクノストレス ○問題解決 ・手法 ・仮説と検証 ○未来の情報社会	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○	a: テクノストレス等の情報社会における「問題」を自ら見つけ、様々な解決策を積極的に考えようとしている。 b: 問題解決のために様々な手法を適切に使い分けることができる。 c: 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決することができる。 d: 情報社会における問題を把握し、よりよい情報社会を築くために必要な取り組みについて理解している。	実習作品 発表 自己評価・相互評価 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。